

まず、ビュットを投げ、そのビュットにいかにもボールを近づけ得点するかを競うスポーツ。
15m×4mくらいのスペースで12個のボールを用い、ダブルス、トリプルスでプレーします。

難易度:★★ 人数:2人～



◎ 用具

屋外用

- ◆ ペタンクボール・・・金属製で中空のボール、基本的には1セット3個でゲームには12個必要とします。
- ◆ ビュット・・・別名コショネといい、直径3cm前後の標的球。
- ◆ メジャー・・・2m計れるもの。
- ◆ タオル等の布切れ・・・ボールの汚れを拭き取るため。
- ◆ スコアを記録する用紙及び筆記用具

室内用

- ◆ ペタンクボール（ニチレクボール）・・・直径70mm、重さ400gの特殊な柔らかいボール12個（赤6個、青6個）
- ◆ ビュット・・・直径3cm前後の黄色の標的球1個。
- ◆ サークル・・・1個
- ◆ スコアを記録する用紙及び筆記用具

◎ 場所

屋外

ゲームに必要なスペースは長さ15m×幅4m位の平坦な土地（ある程度堅い土の上が理想的ですが砂利の混じった敷地などでもかまいません）。

室内

体育館アリーナなど スペースは長さ15m×幅4m位

◎ 人数

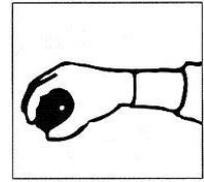
ダブルス（2対2）またはトリプルス（3対3）。

1人の持ちボールはダブルスの場合で1人3個、トリプスの場合1人2個。常に12個を使用。

◎ 基本動作

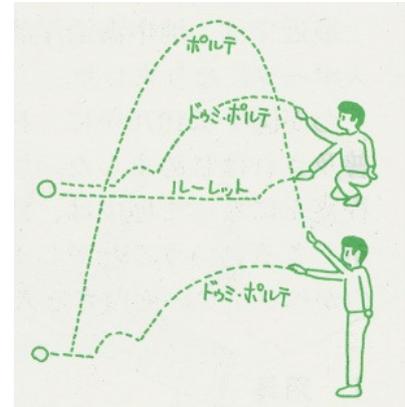
<ボールの握り方>

手のひらで水をすくう時のようにしてボールを包み込むように軽く握り、そのまま手のひらを下に向ける。



<ボールの投げ方>

サークル内よりボールを握った手を後方に引いて、その後、振り子のように前方に振り出し、その弾みを利用して投げる（アンダースロー）。投球姿勢はしゃがんでも立ってもどちらでもかまわない。



ゲームの進め方

1. ジャンケン、トスなどで勝ったチーム（Aチームとする）の中から1人がスタート地点となる直径35～50cm位のサークルを地面に描き、そこから両足をそろえピュット（標的球）を6～10（m）以内の距離に投げます。
2. ひき続き、Aチームの1人が1球目のボールをできるだけピュットの近くに止まるように投げます。
3. 次にBチームがAチームのボールよりさらにピュットに近づくように1球目を投げます。ピュットに近いほうのチームが勝っています。
4. Aチームは、Bチームのボールよりさらに近くなるように2球目を投げます。これがBチームのボールより近ければAチームに勝ちが移ります。遠ければ3球目、4球目と自分のチームのボールが一番近くなるまで投げつづけます。

【勝敗と得点の数え方】

味方チームのボールをピュットに一番近く配置させたチームが勝ち。得点は、負けたチームのボールの中でピュットに一番近いボールより、さらにピュットに近いところにある勝ちチームのボールの数で決める。